

令和元年12月11日(水)に開催した令和元年度第2回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 令和元年度 収支補正予算(案)について

ア 趣旨

事務局から本年度予算の執行見込額に基づき、7,139千円の減額補正に関する説明があった。

イ 主な意見

・PBX(電話交換機)装置更新を延期し、補正予算で減額しているが、PBXの現状と設備更新の考え方を伺いたい。

→PBXは、今年度に保守期限が切れるため更新の入札を行ったが、更新機器の工場が台風19号で被災し、需給関係が崩れ価格が上昇し、入札不調となった。来年度改めて予算化する予定である。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、承認され、役員会に付託された。

(2) 令和2年度 予算編成基本方針(案)について

ア 趣旨

事務局から、令和2年度の予算編成基本方針について説明があった。

イ 主な意見

・成果指標の項目として、外国人留学生数と県内就職率については、判定で●となっているが、これらの状況と対策はどうなっているのか。

→留学生については、公立化後は東アジアの留学生が大学院に入学するケースと交流協定校からの交換留学生のケースの2通りとなっている。今後このような留学生数を伸ばすための対策としては、交流協定校の開拓と近年増えてきた研究生としての受入に重点を置いている。

県内就職率については、売り手市場の現状から都市部に集中する傾向がある。本学としては長期的に県内企業の魅力をアピールしていきたい。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、承認され、役員会に付託された。

(3) 給与関係規程の一部改正について

ア 趣旨

事務局から、現在の給与規程が、事務職員と教員で分かれて規定されているが、事務の簡潔・明確化のため、両規程を一本化するという説明があった。合わせて、静岡県の給与改定状況を勘案し、本学の給与規程について所要の改正を行うという説明があった。

イ 主な意見

特に無し。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、承認され、役員会に付託された。

以上